



GOOD DESIGN
SHIZUOKA
2025

GOOD DESIGN SHIZUOKA 2025



GOOD DESIGN SHIZUOKA

モノとコトが響き合うとき、静岡らしい価値が生まれる。

静岡県は、多様な産業が集積する「ものづくり県」として発展してきました。デザインは其中で、見た目の美しさを整えるだけでなく、地域や社会の課題を解決し、新たな価値を生み出す手段として重要性を増しています。

1993年に創設された「グッドデザインしずおか」は、デザインを活用した優れた取組を顕彰し、県内の企業・団体の挑戦を後押ししてきました。32回目となる本年度は、学生も募集対象に加えたところ、多様な視点と熱意を持った応募が集まり、ものづくり・ことづくりの力強い広がりを感じています。

近年、デザインの領域では「モノ」と「コト」を分けて捉えることが難しくなっています。良い“モノ”の背景には必ず“コト”の積み重ねがあり、優れた“コト”の取組は、人々が触れられる“モノ”や場として結実します。両者を往復しながら価値を形にする営みこそ、デザインの本質といえます。

審査では、課題設定、提案の独自性、成果、ユーザー視点、技術性など、多面的に評価し、大賞をはじめとする各賞を選定しました。本冊子を通じて、選定された取組の背景にある想いと、静岡県のデザインが生み出す可能性を感じていただければ幸いです。

GOOD DESIGN SHIZUOKA 2025 受賞作品

大賞

遠州織物×久留女木の棚田プロジェクト

株式会社HUIS

金賞

旨いまぐろのしっぽ肉

福一漁業株式会社

土と微生物に特化した学びのプログラム
『まほうの土プロジェクト』

里山野菜株式会社

優秀賞

アイズ-ブロッカー

株式会社アイズ

やさしいのーと

ナガハシ印刷株式会社

ホームスマイル静岡
シュークリームキット

パティシエエヌトーク

ZEN TEA BREW
「KANPAIカクテルキット」

株式会社dozo

災害時こそ被災者が安眠できる
『寝心地追求エアーストック』

株式会社ニチワ

制振装置evoltz B5

株式会社evoltz

クッション折戸

有限会社静岡フスマ商会

「子供たちの未来を応援する」
廃材利用

株式会社中央パッケージング

海を旅した帆のバッグ

Akala株式会社
障害者就労支援事業所ここから

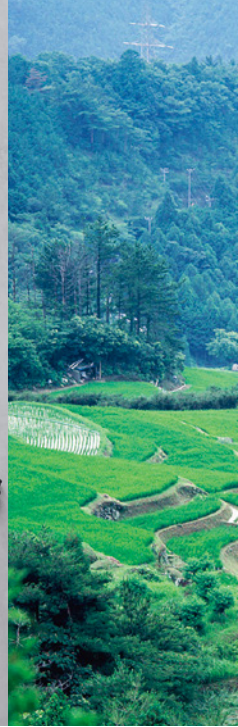
ニューホープ賞

てのも-手つなぎコミュニケーションツール-

静岡文化芸術大学 竹田セレナ

大賞

遠州織物×久留女木の 棚田プロジェクト



産業をまたぎ、地域課題に正面から取り組む“棚田からはじまる服づくり”

久留女木の棚田で生産した綿花から糸を作り、遠州織物として織り、最終製品として全国で販売するプロジェクトです。取組を通して綿花から一着の服になるまでの様々な工程・携わる事業者を伝えることで「多面的な機能と美しい景観を持つ一方、耕作放棄地化が進む棚田」と「世界的な高級生地として業界では知られる一方、担い手不足が続く遠州織物」の現状・課題を啓発し、棚田の保全と遠州織物の維持発展につなげるものです。



株式会社 HUIS

デザイナー：松下あゆみ（株式会社 HUIS）

先人たちが守ってきた棚田と織物を未来へつなげたいという思いで活動してきました。農業・アパレル繊維業の現状と課題に目を向ける契機に、そして棚田保全の企業連携モデルになればと思います。多くの協力事業者さんと共にいただいた賞です。地域資源や産業と、それらに携わる人々の素晴らしいさをこれからも伝えていきたいです。

浜松市中央区神ヶ谷町1182-2 TEL. 053-548-4713

<https://1-huis.com>



選定評

地域に密着した企業ならではのプロジェクトに審査員一同心を打たれました。普段は目にすることが少ない業種にスポットを当て、取材記事や動画による「業務の見える化」を行った取組は、作り手の一人一人の仕事に誇りをもたらす素晴らしい活動です。また、棚田を後世に遺す課題に真正面から向き合い、障がい者の就労支援まで含めた一連のサイクルは、循環型社会の実現に向けて、まさにお手本となるプロジェクトだと感じました。

金賞

旨いまぐろのしっぽ肉

まぐろはしっぽまでおいしく食べられる！

「旨いまぐろのしっぽ肉」シリーズは、「まぐろはしっぽまでおいしく食べられる！」をテーマに生まれた、焼津船元・福一漁業の缶詰です。希少部位「尾肉」のおいしさを、身近に、もっと多くの人に届けることで、部位の価値を高め地元焼津の特色のあるお土産として貢献したい！という想いが形になりました。地元とまぐろへの愛が詰まった商品です。



福一漁業株式会社

デザイナー：吉平彩見（福一漁業株式会社）

希少部位「尾肉」の価値を、もっと身近に感じていただきたいという思いで、企画・デザイン・販売まで一貫して取り組んできました。味はもちろん、デザインまで自信を持っておすすめできる商品を形にでき、今回の受賞を大変嬉しく思います。これからも、まぐろと地元焼津の魅力をこの商品を通じて多くの方へ届けていきます。

焼津市中港5丁目9番25号 TEL. 054-627-1211

<https://fukuichi-world.jp/>



選定評

まぐろの希少部位ではあるものの、あまり食べられていなかった尾肉に着目し、まぐろを食べ尽くすというのが評価されました。また、味にとどまらず、まぐろのしっぽと波をイメージしたイラストは、缶詰だけではなく、段ボールにも使われており、段ボールそのものがディスプレイの一部になるなど、こだわりが感じられます。

金賞

土と微生物に特化した学びのプログラム 『まほうの土プロジェクト』

「土」を軸に、学びが科目をこえてつながる体験型プログラム

まほうの土プロジェクトは、「土」と「微生物」に特化した学びのプログラムです。企画者が10年以上の研究で培った、微生物や動植物の生態、自然界の物質循環、発酵食などの知恵を、クイズや4コマ漫画を通して楽しく学びます。生活を支える「土」と「微生物」を軸に、机上の学習で「わくわく」、体験で「ドキドキ」を感じられる構成で、自然科学からさまざまな分野の学問を横断的に学べる教育体系をデザインしました。



里山野菜株式会社 デザイナー:永田和史(ブランドデザインオフィス MYBRAND)

静岡県富士市で始まった本プログラムは、今後、全国の子どもや大人へと学びの輪を広げていきます。地域を超えて参加者が積極的に学び合い、つながり、互いの知恵を共有できる。そんな未来を実現する“橋渡し”として、このプロジェクトをさらに発展させ、誰もが土を通じて気づきや学びを得られる場へと育てていきたいと考えています。

富士市榎木60-5 TEL. 0545-78-3109

<https://satoyama.bio/corporation/>



選定評

身近な存在でありながら、実はあまり知られていない「土」と「微生物」に光を当てた学びのプログラムです。微生物を起点に、昆虫や動植物、自然界の循環、そして発酵食文化にまでつながる知識を、楽しく体験できるような仕組みをデザインした点が評価されました。子どもだけでなく親子で一緒に夢になれる構成で、知的な“わくわく”と“ドキドキ”が詰まっています。地域行政と連携されているところも安心感があります。



アイズ-ブロッカー

遊びも仕事も快適に 付けっぱなしで全天候に対応

バックドアに装着したまま、開閉可能な機構を実現した画期的なタープです（特許第6862023号）。車両と調和するプロダクトデザインを追求しました。設営の手間を最小限に抑え、雨・風・日差し・外部の視線から大切な荷室と車内空間を快適に守ります。車中泊やアウトドアだけでなく、はたらく現場での休憩や積載物の保護にも貢献する、全天候型の多用途対応の製品です。



株式会社アイズ

デザイナー：井潤真章（株式会社アイズ）

車と屋外との中間位置に、テントの前室のような器具の準備、休憩などを行う快適空間が“あったらいいな”という思いから開発に着手しました。

より多くの方に快適性を実感していただけるよう、これからも製品を進化させていきたいです。

浜松市中央区国吉町234-2 TEL. 053-422-7608

<https://www.aizu-rv.co.jp/>



選定評

自動車のバックドアの「開閉スペース制約」や「悪天候での不便さ」といったユーザーの不満点に注目し、実用性とデザイン性を高次元で両立させた、まさに「グッドデザイン」と呼ぶにふさわしい製品です。既存の概念に囚われず、新たな視点と技術で「移動」と「空間利用」の価値を再定義した本製品は、今後のモビリティデザインに新たな可能性を示すものとして高く評価されました。



やさしいのーと

やさしい筆圧でしっかり書ける やさしい想いが詰まったノート

「思うように書けないからと、筆圧が弱いことが原因で子どもが勉強をキライになりかけている」そんな相談から生まれた「やさしいのーと」。

特別な用紙を使用して、やさしい筆圧でもくっきり記せます。さらに、使う場面を研究して机の上で使いやすいサイズと製本にもこだわりました。



ナガハシ印刷株式会社 デザイナー：杉山裕子（ナガハシ印刷株式会社）

今まで目を向ける機会がなかった誰かの困りごとを学び、自分たちが持つ技術や知識で何ができるかを考えた得るものが多いプロダクトでした。これからは「誰かの困りごとを、他人ごとにしらない」目線と技術と知識を磨きながらより良い未来の実現に貢献するモノづくりを続けていきたいと考えています。

静岡市駿河区みずほ1-35-3 TEL. 054-257-0111
<https://www.nagahashi.com/>



選定評

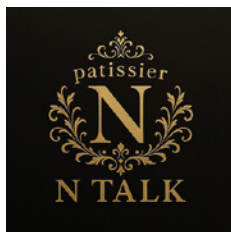
「やさしいのーと」という名前通りの誰に対しても配慮された、「書くこと」自体が楽しくなるような商品に審査員の評価が集まりました。また、シンプルながら柔らかな印象のパッケージとともに、使う人の声に耳を傾けながら、より良い製品づくりへと反映していく、前向きな社風も評価のポイントでした。



ホームスマイル静岡 シュークリームキット

家で焼こう、静岡まるごと専門店シュー体験キットで家族時間を

家庭で専門店の味を体験できる「ホームスタイル静岡シュークリームキット」。計量不要、動画手順付き。静岡産牛乳と富士山麓の卵を使用し、サクふわ生地とコク深いカスタードが完成。贈答・親子体験・学校イベントに最適。個包装で衛生的、少人数から大量調理まで対応。地域素材の魅力を学べる食育キットです。家庭用オーブンで焼くだけ。常温対応手順書、タイムテーブル付きで失敗しにくい設計。休日ごほうびやワークショップにも。



パティシエエヌトーク

静岡の素材で、家の食卓で専門店の感動を再現してほしいという想いから生まれたキットです。完成された生地と動画レシピで誰でも失敗しにくく、親子での体験性を高めました。今後は食育教材や観光みやげとして、静岡の生産者と家庭をつなぐ架け橋を目指します。

静岡市葵区千代田7-8-22 TEL. 054-687-9956
<https://patissier-n-talk.com>



選定評

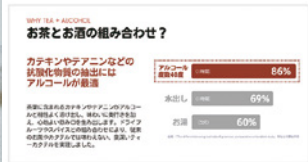
家族や友人でシュークリームを作る体験がとても楽しく、笑顔につながる事が評価されました。材料をレシピよりも多めに用意することで、組み合わせの自由度を増やすなど、ただレシピ通りではなくお菓子作りを楽しむ余白がある点も魅力的です。地元の素材を使い、味が落ちないように開発されているなど、パティスリーならではの、おいしさにこだわりがある点も評価のポイントです。



ZEN TEA BREW 「KANPAIカクテルキット」

ZEN TEA BREW - 日本初のクラフトティーカクテル 「個人で味わうお茶」から「仲間と乾杯するお茶」へ

ZEN TEA BREWは、お茶をお酒で抽出する日本初、静岡岡のDIYカクテルキット。茶葉をアルコールで抽出することによりカテキンなどの有効成分の抽出効率が、お湯や水に比べ1.4倍向上する、楽しく、健康的な次世代ティーアルコール。「茶の湯」を再解釈することにより、急須のサイズが定義していた一人でのお茶を仲間と乾杯をするお茶へ。欧米2兆円市場を背景に、お茶に300年ぶりのイノベーションを起こし、グローバルで日本茶の価値を高める挑戦をしています。



株式会社dozo クリエイティブディレクター：大河勇輝 (Beyond Boundaries)

グローバルで2020年ごろから需要が高まっている2兆円市場のティーアルコールマーケットへ参入するために開発しました。茶農家として就農する中で伝統を守ることと同じくらい、新たなイノベーションで次の伝統を作ることの重要性を実感し、今回の商品を開発しました。日本の文化をグローバルで発信できるように、これからも我々のミッションである「[Tea]X」を実践していきます。

静岡市葵区伝馬町1-2-3F TEL. 080-3625-9904
<https://www.zenteabrew.com/>



選定評

お茶を「個人で味わうもの」から「仲間と乾杯するもの」へと発想を転換し、消費拡大と市場活性化に繋がる新しいお茶の楽しみ方を提示した独創性と革新性が高く評価されました。海外への販路を主な視野に入れ、日本茶を新しい文化として輸出しようとする試みも、これまでの茶産業の視点とは違い、とても期待できる取組です。



災害時こそ被災者が安眠できる 『寝心地追求エアークラウド』

包み込む安心 独自ハンモック構造の防災ベッド

弊社は創業以来、空気の逆流を防ぐ特許取得済み「逆止弁」を活用した梱包・緩衝材を製造販売してきました。この技術を応用し、災害避難所などで被災者が安眠できるエアークラウドを開発。寝心地の良さに加え、湿気に強く衛生的で、コンパクトに備蓄可能です。



株式会社ニチワ

デザイナー：阿部留松（株式会社ニチワ）

繰り返される災害のたびに、被災者の健康維持に少しでも役立ちたいという思いから、防災ベッドを開発しました。第一に寝心地の良さを徹底追求。二重構造、4本連接チューブによるハンモック形状化を独自に設計。更に、大量備蓄に向けてコンパクト収納性を持たせました。今後も、弊社は“空気の力”を活かした防災製品を開発してまいります。

沼津市大諏訪742-1 TEL. 055-923-4567

<https://www.kk-nichiwa.co.jp/>



選定評

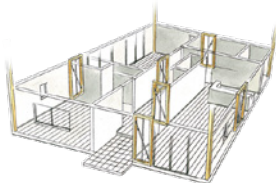
機能性、安全性、デザイン、環境配慮など多角的な視点からの徹底した追求は、被災者のQOL向上に大きく貢献します。審査の際に実際に寝てみましたが、非常に安定感のある寝ごちでした。本製品は、災害支援のあり方を根本から変え、社会に大きな影響をもたらす可能性を秘めた、まさに「人に優しい」画期的なプロダクトだと感じました。



制振装置evoltz B5

世界基準の技術で震度1から吸収 地震後も住み続けられる安心を

自動車のショックアブソーバ技術を応用し、開発された木造住宅用制振装置「evoltz B5」。地震の揺れを効率よく吸収し、「倒壊しない」はもちろん、その先の「損傷させない」住まいを目指しました。卓越した減衰力が、繰り返す揺れによる構造体へのダメージを最小限に抑制。地震後も新築時に近い高い住宅性能を維持し、大切な資産である住まいと、そこに住まう家族の暮らしに「未来の安心」をもたらします。



evoltz × BILSTEIN 
Innovative collaboration with a global part maker



株式会社 evoltz

「倒壊しない」だけでなく、地震後も資産価値と暮らしを守る「損傷させない」家づくりを目指しました。世界的な自動車部品メーカーと提携し、微細な揺れから効く独自の減衰特性を実現。この技術で日本の木造住宅をより強く、価値あるものへと進化させ、多くの家族に永く続く安心を届けたいと考えています。

浜松市中央区高丘西2-3-6 TEL. 053-522-7766
<https://www.evoltz.com/>



選定評

毎年のように発生する巨大地震によって、日本各地は甚大な被害を被っていますが、課題を解決するために自動車のサスペンション技術を木造住宅に取り入れた発想が秀逸でした。また、顧客に安心と安全を提供するために、壁の中で見えなくなる製品のロゴやデザインにまで拘った点を高く評価しました。言葉だけでは伝わりにくい制振の原理を、映像や動画によって伝えることで、より多くの住宅に普及することを期待しています。

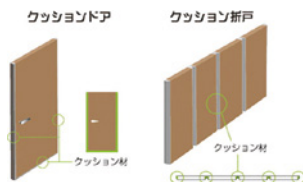


クッション折戸

クッション折戸で指安心 痛みゼロの安心設計

クッション材を折戸の中に内蔵したことにより、高い安全性とデザイン性を両立させた革新的な製品です。

お子様にも安心、そしてあらゆる空間に調和するデザイン性を兼ね備えた静岡フスマ商会のオリジナル商品です。



有限会社静岡フスマ商会

折戸に指を挟まないようにすることは、どれだけ注意喚起をしても不可能ではないかという考えから、〈挟んでも怪我をしない、そして痛くない〉そんな商品の開発に進みました。より多くの人に認知され、折戸と言ったら【クッション折戸】そんな商品を目指します。

磐田市福田5495-6 TEL. 0538-55-6750
<https://www.shizuokafusuma.co.jp/>



選定評

日常生活の中での怪我をなくすという優しさから作られた製品です。使用者の安全に配慮しつつも、指が入らないようにカバーを付けたり、注意喚起用のステッカーを貼るなど見た目を犠牲にしていない“普通の”折戸であるデザイン性や、何度でもクロスを張り替えることができるので、保育施設でも安心して使用できることが評価されました。今後の利用拡大に期待しています。



「子供たちの未来を応援する」 廃材利用

廃材の渡し先をひと工夫 子供たちのものづくりの可能性を広げる活動

社員の声から生まれたこの活動は、紙箱の製造過程で発生する廃材を地域の保育園・幼稚園の子供たちに無償で提供し、工作に役立ててもらう活動です。紙箱の印刷・製造会社である弊社では、特別な設備や工程を必要とせず、持続可能な地域貢献として実行できる活動です。子供たちにもものづくりの面白さ、創造力を育ててもらうことで、未来をつくる子供たちの可能性を応援したいという想いで取り組んでいます。



株式会社中央パッケージング デザイナー：鈴木里実子(株式会社中央パッケージング)

これまで捨てられていた廃材の渡し先を変えるだけで、子供たちの未来につながる取組になります。訪問時には子供たちや職員の方の反応をみながら、材質選定や提供方法など今後の活動へ活かしています。今後は同様のニーズがある学校や施設などにも活動を広げ、会社一体となって取り組んでいきたいと思ひます。

静岡市駿河区小鹿1-63-1 TEL. 054-282-3125

<https://www.chuopkg.co.jp>



選定評

サンプル制作や製造工程で生じる廃材を、地域の保育園や幼稚園に無償提供し、子どもたちの工作活動の材料として活用してもらってアップサイクルの取組となっています。多様な素材を観察・体験することで、子どもたちの興味を引き出し、想像力や創造力を育む機会を提供しています。地域貢献と教育的価値を両立すると同時に、企業ブランディングにもつながる優れた活動です。

優秀賞

海を旅した帆のバッグ

海を旅した帆が、再び人の手に渡り、新しい命を吹き込まれる
まさに循環型社会の象徴です

ヨットセイル（帆）の不用品やセイルメイカーがセイル作成時に出る端材を使用する活動が、環境保全といったSDGs的な意味合いに留まらず、障がい者の方々が製造に加わることで、彼らの社会的自立の新たな可能性や仕事を作り出し、製品を手にとった人に喜びと感動を与えます。



Akala 株式会社／障害者就労支援事業所ここから

海を旅したヨットセイルの端材を丁寧に組み合わせ、素材本来の軽さ・強さを活かした一点物のバッグです。ヨット愛好家には価値が直感的に伝わり、アウトドアでの実用性や日常使いでの洒落感も魅力。海の記憶を纏う、多用途で長く楽しめるアイテムとして展開していきます。

裾野市下和田249-12 TEL. 055-941-7333
<https://kokokala.org>



選定評

不用となったヨットセイルを再生し、世界に一つだけのバッグとして生まれ変わらせた点が高く評価されました。障がい者雇用の促進という社会的意義も併せ持ち、サステナブルな未来への希望を感じさせます。高機能素材の質感や海を旅したストーリー、そして作り手の想いが調和し、強さと優しさを兼ね備えた魅力ある作品です。

いっしょがすきになる、いっしょにそだてていく

手をつなぐの、イヤ!そんなイヤイヤっ子の自然な「手つなぎ」を優しく促すナマケモノ型のぬいぐるみです。伸縮する腕で程よい距離を保ちながら、ぬくもりを感じられる設計。子どもが手のひらの穴に手を入れると、やわらかく包み込まれる感覚が広がります。手をつなぐことが苦手な子ども、遊びながら自然と手をつなげるように。安全と安心を考慮しつつ、親と子の心の距離を近づける「仲介者」として寄り添ってくれる、それが「てのも」です。



静岡文化芸術大学 竹田セレナ

「小さな子どもの手つなぎ拒否が親子関係の悪化につながる」ということを知って、寂しさを感じたのが「てのも」を作る出発点となりました。従来のUDとは異なった精神的・内面的な側面に焦点を当てたアプローチを行ったことで、家庭内での小さな問題を解決するきっかけとなることを目指しています。

浜松市中央区中央2-1-1 TEL. 080-2633-4455

選定評

親子の手つなぎを「ぬいぐるみ」を通して柔らかくサポートしたいという発想が素晴らしいと思います。ぬいぐるみも手作り感があり審査員一同ほっこりさせていただきました。

今後もぜひブラッシュアップをしながら、「優しい取組」が広がることを期待しています。

◆ 審査員長総評 ◆

近年では最多の応募がありましたが、量だけでなく質の高い作品が出揃っていたと感じました。また、二次審査参加者のプレゼンテーションスキルが高かったことも非常に印象的でした。書類からだけでは良さが今一つ伝わらなかったものの、実際に触れてプレゼンを聞いて評価が一変した作品もありました。

大賞を受賞した「遠州織物×久留女木の棚田プロジェクト」は、有形無形を問わず、デザインが社会に影響を与える素晴らしい価値を皆様の心に刻む、メッセージ性が内包された秀逸な取組でした。金賞を受賞した「旨いまぐろのしっぽ肉」はまぐろ、「まほうの土プロジェクト」は土と微生物、それぞれ対象への情熱と愛に満ち溢れていて暖かさが身に沁みました。惜しくも受賞に届かなかった作品も素敵なものばかりで、審査通過や受賞は紙一重の差だったと思います。

例えば、書類を読む人への配慮、説明を聞く人への配慮、いわゆる目配り・気配り・心配りも大切です。人の心を動かす為には「伝える（一方通行）」から「伝わる（双方向）」ことが重要だからです。これからの時代、デザイン単体の評価だけでなく、コミュニケーションスキルも重要なファクターとなってくると思います。

審査員

審査員長



中野 民雄

静岡文化芸術大学
デザイン研究科長

審査員



山崎 瑠璃

株式会社山崎製作所
企画営業部長

審査員



内田 喜基

株式会社cosmos
代表取締役

審査員



風間 康寛

NPO法人エシカファーム
理事長

審査員



三輪 拓也

独立行政法人
中小企業基盤整備機構
中部本部
静岡エリアマネージャー

審査員



富山 達章

インタープランニング
有限公司
代表取締役

審査員



松尾 憲宏

静岡理工科大学
静岡デザイン専門学校
プロダクトデザイン科
非常勤講師

magnet-design
代表

審査員



鈴木 敬明

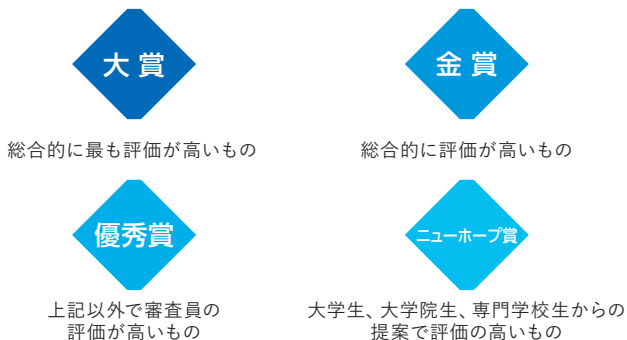
静岡県工業技術研究所
所長



<審査の流れ>

募集期間	令和7年6月1日から7月31日（応募数：81点）
一次審査 （書類審査）	令和7年9月2日（通過数：25点）
二次審査 （プレゼン審査）	令和7年10月7日（選定13点）
表彰式	令和7年11月25日 於：静岡県庁別館21階展望ロビー

<各賞の選定基準>





GOOD DESIGN SHIZUOKA 2025

静岡県経済産業部商工業局地域産業課

(〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号)

TEL : 054-221-2522 FAX : 054-221-5002 E-Mail : chiikisangyo@pref.shizuoka.lg.jp
HP : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041028/1028513.html>

令和8年1月発行